

施策マネジメントシート

施策名	行政評価 施策	文化・芸術活動の充実	施策 統括課	生涯学習課	氏名	津田 智宏
政策名	施策 体系	ひとを育てる・守る	施策 関係課	公民館		

1 施策の目的と指標

対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない																		
・市民	<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>人口</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>エ</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	ア	人口	人	イ			ウ			エ					
名称		単位																	
ア	人口	人																	
イ																			
ウ																			
エ																			
意図(対象をどう変えるのか)	成果指標(意図の達成度の指標) 数字は記入しない																		
・文化・芸術活動に親しむ	<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>過去1年間に文化・芸術活動を鑑賞した市民の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td>過去1年間に文化・芸術活動をおこなった市民の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>エ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>オ</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	ア	過去1年間に文化・芸術活動を鑑賞した市民の割合	%	イ	過去1年間に文化・芸術活動をおこなった市民の割合	%	ウ			エ			オ		
名称		単位																	
ア	過去1年間に文化・芸術活動を鑑賞した市民の割合	%																	
イ	過去1年間に文化・芸術活動をおこなった市民の割合	%																	
ウ																			
エ																			
オ																			

2 第2次基本計画期間(平成23～27年度)内における取組内容

体系	具体的な取組内容
文化・芸術を発信するための基盤整備	文化・芸術の創作活動に関して、ネットワークの整備などを幅広く行い、くにたちの芸術文化を発信します。文化・芸術活動を行っている市民・団体が活動に関する発表会等ができるように場と機会を拡充します。
人材の発掘・育成・活用	人材を確保し、活用できるシステムを構築します。市民芸術小ホール、くにたち郷土文化館、公民館、学校等の施設を活用し、芸術家や専門家、関係団体等と連携して文化人や芸術家を生み出す環境をつくります。

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値

		単位	数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
対象指標	ア	人	見込み値									76,000	
			実績値	73,563	73,803	74,251	74,329	74,432	74,265				
		イ	見込み値										
			実績値										
成果指標	ア	%	成り行き値				50.5	50.5	50.5	50.5	50.5	50.5	
			目標値				50.8	52.0	53.2	54.4	55.6	57.0	
			実績値	50.6		50.4	51.6	47.0	49.9				
			基本計画における 施策の目標設定の根拠		第2回国立市市民意識調査において、「鑑賞していないが関心がある」と答えた市民の割合が6.4%であり、その潜在需要を伸ばすことを目標としました。								
成果指標	イ	%	成り行き値				25.3	25.3	25.3	25.3	25.3	25.3	
			目標値				25.5	25.8	26.1	26.4	26.7	27.0	
			実績値	25.3		21.8	21.1	20.5	20.7				
			基本計画における 施策の目標設定の根拠		第2回国立市市民意識調査において、文化・芸術に関する施設等の環境が整っており、地域別に最も水準が高い中地域を目標としました。								
成果指標	ウ		成り行き値										
			目標値										
			実績値										
			基本計画における 施策の目標設定の根拠										
成果指標	エ		成り行き値										
			目標値										
			実績値										
			基本計画における 施策の目標設定の根拠										
成果指標	オ		成り行き値										
			目標値										
			実績値										
			基本計画における 施策の目標設定の根拠										
事務事業数		本数	8	6	5	5	4	4					
施策コスト	事業費	財源内訳	千円										
		国庫支出金	千円										
		都道府県支出金	千円										
		地方債	千円										
		その他	千円										
	一般財源	千円	70,777	73,631	76,843	77,752	79,903	75,650					
	事業費計(A)	千円	70,777	73,631	76,843	77,752	79,903	75,650	0	0	0		
人件費	時間	178	136	186	186	155	540						
人件費計(B)	千円	890	680	930	930	775	1,941						
トータルコスト(A)+(B)		千円	71,667	74,311	77,773	78,682	80,678	77,591	0	0	0		

4 施策の現状

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?

国立市は、「文教都市くにたち」としての市民意識が高く、市民の自主的な文化活動と市の文化・芸術事業が市民芸術小ホール、くにたち郷土文化館、公民館、図書館等で行われてきた。活発な文化・芸術活動や個性豊かな文化人、芸術家が多く、またギャラリーなどの民間文化施設も多く存在している。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

伝統文化子ども教室は廃止となったが、ここで実施していた各教室への支援(施設利用の減免等)の要望がある。文化・芸術活動は行っているが、発表の場が少ない。

5 24年度の評価結果

(1) 24年度行政経営方針の取組状況

24年度行政経営方針	取組状況
国立市は文化・芸術活動が盛んであり、またギャラリーなども多く存在しているなど、文化・芸術が身近な生活空間に溶け込んだまちである。 この特性を活用すると同時にさらに醸成させることにより、国立市の文化・芸術の振興に向けて具体策を検討・展開する。	市民文化祭実行に際し、各団体の代表による企画・実行・振り返りを行うことにより、連携が保たれた。ホームページで市内各団体の活動内容一覧を掲載し、市民が文化・芸術等の活動に参加しやすい環境を保った。 公民館主催事業として、「美術のワークショップ」講座を新たに開催するなど、引き続き初心者向けを中心とした文化・芸術に関連する講座等を開催し、活動への第一歩となるよう取り組んだ。 アートによるまちづくりを進めるため、くにたち文化スポーツ振興財団において、野外芸術作品展示検討会を開催した。

(2) 施策の成果実績把握と評価

成果指標目標達成度(目標値と実績値との比較)

成果指標ア [過去1年間に文化・芸術活動を鑑賞した市民の割合]

24年度目標値を達成 未達成 (23年度実績値と比較し成果向上・維持 23年度実績値と比較し成果低下)

成果指標イ [過去1年間に文化・芸術活動をおこなった市民の割合]

24年度目標値を達成 未達成 (23年度実績値と比較し成果向上・維持 23年度実績値と比較し成果低下)

成果指標ウ []

24年度目標値を達成 未達成 (23年度実績値と比較し成果向上・維持 23年度実績値と比較し成果低下)

成果指標エ []

24年度目標値を達成 未達成 (23年度実績値と比較し成果向上・維持 23年度実績値と比較し成果低下)

成果指標オ []

24年度目標値を達成 未達成 (23年度実績値と比較し成果向上・維持 23年度実績値と比較し成果低下)

時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上) ~ E(かなり低下)

B:成果がどちらかと言えば向上した

他自治体との成果の比較 A(かなり高い) ~ E(かなり低い)

B:他自治体と比べてどちらかと言えば高い成果水準である

背景として考えられること

ア 平成23年度は東日本大震災の発生による計画停電の実施やイベントの自粛等が影響したが、平成24年度はこれらが改善されたためと考えられる。

イ ア同様に、活動場所が例年どおりとなったため、数値が向上したと考えられる。

文化・芸術活動を鑑賞している市民は微増している。

文教都市の市民としての意識の高さや所得水準の高さから、どちらかと言えば高い水準であると推測される。

(3) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等)

- 市民文化祭や文化芸術公演会を実施した。
- 文化・芸術活動をしている団体活動のネットワークの整備には至らなかった。
- 平成23年度の東日本大震災後の計画停電の実施やイベント等の自粛ムードも弱まり、市民の文化・芸術活動が徐々に増加している。
- アートによるまちづくりを進めるため、くにたち文化スポーツ振興財団において、野外芸術作品展示検討会を開催した。

6 施策の課題・今後の方向性

- 文化力を醸成するため、国立から文化・芸術を発信するための基盤(ネットワーク、発表機会等)を整備し、文化芸術活動を支える人材の発掘、育成及び活用を検討していく必要がある。また、文化・芸術によるまちづくりを進めていく必要もある。
- 文化施設の老朽化が進むなか、安全な使用環境の確保のため施設及び設備機器等の対応が必要である。
- アートによるまちづくりを進めるため、くにたち文化スポーツ振興財団において、野外芸術作品展示を進める。